

御造替・震災復興支援について

当社では春日大宮（御本社）はじめ境内に御鎮座される62社の摂社・末社各御社殿の御修繕を順次執り行っております。

社殿を定期的に修繕し、清浄に保つことは神々様の御悦びになるところであり、素晴らしい御神徳を発揮頂く大切な御奉仕でもあります。この御修繕は、大宮の式年造替に併せ、20年毎に行っておりますが、社殿数が多いため長期に亘り、また多額の費用が必要となるため、有志の方々にご支援ご奉賛をお願いしております。



摂社若宮の御本殿御修繕の様子（令和4年）



末社夫婦大国社屋根柿葺きの様子（令和6年）

また、令和6年1月、能登半島で起こりました大地震により被災されました、御祭神を同じくする、そして全国春日連合会加入社でもあります、石川県珠洲市飯田町鎮座の春日神社、そして同市若山町鎮座の二子神社の復興支援も行っております。両神社は、全壊は免れたものの、社殿は相当な被害を受け、燈籠、鳥居、社号標、太鼓橋など、石造りのものその殆んどが倒壊し、復旧の目途も立てられない状況となっております。



震災により倒壊した石造物。飯田町春日神社表参道



断層の隆起・沈下により倒壊寸前の二子神社

ご奉賛・ご支援のお願い

当社へご参詣、ご崇敬頂いております皆様には、当社摂末社御修繕に際しまして格別なるご支援、ご奉賛を頂いており、誠に有り難く存じます。摂末社の保全是、春日信仰の要となる、重要な営みであり、皆様のお力添え無くしては成り立ちません。然しながら、能登の現状を知るにつけ、御祭神を同じくする被災神社の余りの状況に対し、当社摂末社へのご支援共々、能登半島地震被災春日神社へのご支援を合わせてお願い致したく存じます。

御寄進につきましては、春日大社摂社・末社御修繕事業の一環として、その奉賛額の半額を、石川県珠洲市飯田町鎮座春日神社、同市若山町鎮座二子神社両神社の御社殿復興支援金に充てさせていただきます。

ご支援ご奉賛のお申込み方法

- ・ご寄進ご希望の方に関係リーフレット・説明書を送付申し上げますので、送付先（住所氏名）をお知らせください。届きました資料・要項をご覧の上、添付しております郵便振込用紙にてお振込み下さい。（春日大社参拝所前におきましても、ご寄進をお受けしております。）
- ・銀行振込み等、他の方法をご希望の方は造替事務局にお問い合わせ下さい。
- ・ご奉賛につきましては、3千円以上の御志納にてお願いを申し上げます。
- ・ご奉賛を頂きました各位には、当社の月次祭であります旬祭にて、御神前に奉献申し上げ、ご安泰を祈念申し上げます。尚、同一者の、複数回継続してのご寄進は、累計のご奉賛として、御神前にて奉告申し上げます。
- ・累計3万円以上ご奉賛頂きました方のご芳名を、境内表参道の適宜の場所に掲出し、そのご功績を顕彰申し上げます。

◎お申込み、お問い合わせにつきましては、春日大社内造替事務局あて郵便・お電話・メールにてお願い致します。

◎〒630-8212 奈良市春日野町160 春日大社内造替事務局

TEL 0742-22-7788（代表）

メールアドレス (imai@kasugataisha.or.jp)

※能登半島地震被災飯田町鎮座春日神社の状況（一部・令和6年11月撮影）

崩壊した表参道の社号標、大型燈籠、特に鳥居については令和4年6月の地震により倒壊したものの、珠洲市復興のシンボルとしてクラウドファンディングにより令和5年7月に竣工したばかりでした。道路、インフラ復興工事が最優先のため、現在もそのまま取り置かれています。

また、境内御鎮座の愛宕神社御本殿は倒壊の恐れがあるため入室が禁止され、参道・階段も隆起・亀裂が走り、危険で通行が出来ない状態となっています。



隆起し、危険のため通れない御本殿への階段



社号標や鳥居が倒れ、そのままとなっている状況



境内御鎮座愛宕神社。狛犬はじめ石造物が転倒



愛宕神社の参道。危険で通行ができない状態

※能登半島地震被災二子神社の状況（一部・令和6年11月撮影）

若山町鎮座二子神社は、丁度断層の上に建立されていたため隆起と沈下により本殿が歪んで倒壊寸前となり、祭典が出来ない状態となっています。また神社への表参道は地震により亀裂が入り、同年9月の集中豪雨により崩壊し、参拝するにも困難な状況となっています。



御本殿内部は傾き、危険な状態となっている



山上鎮座の神社への参道は地震・豪雨により崩壊

※春日大社境内御鎮座 6 2 社 末社等御修繕風景 (一部)



末社南宮・兵主神社御修繕風景 ※東側より



摂社榎本神社の朱塗り替え作業



環境厳しい春日奥山鎮座、上水谷神社を御修繕



摂社紀伊神社の檜皮屋根葺き替え風景



末社三十八所神社御修繕風景